キンソー／LED装飾「イルミネーションミラー」「エコッパ」

店内の雰囲気が一新！ ファンも感嘆するエンドパネル

京成立石駅。浅草と葛飾柴又の中間に位置し、駅前から商店街が伸びる、下町の風情を色濃く残した街が広がっている。

駅の半径500m圏内には、200～300台規模のホールが6店舗あるが、その中にあって、時流に合わせたリニューアルで、飛躍を遂げようとしているのが「あかね立石店」（パチンコ117台、パチスロ140台）だ。

昨年12月、10日間の店休をとってパチンコ島を作り変えるなど、大幅なリニューアルを敢行。同27日にオープンを迎えた。

大きく変えたのはパチンココーナーの台間で、分煙ボードを含めると約8㎝アップ。さらに、「VIPコーナー」と称して雁行島も設置した。

同店を運営する茜商事の榎本高志常務はその狙いについて、「少し動くと隣のプレーヤーに肘が当たってしまうぐらい台間が狭かったんです。駅前店とはいえ、今後を見据えたとき、それでは打ってもらえないだろうと。MAX機の完全撤去など、射幸性が低下していく中、ファンの間でもう一度、ホールの選択が始まります。厳しい中ですが、他店と競争する意気込みを見せることで、流動化するファンの選択肢の一つになりたいと考えました」と話す。



あかね立石店
東京都葛飾区



榎本常務

そんな同店が、〝他店にないインパクトのあるものを〟として導入したのが、キンソー（本社：大阪府東大阪市）のLED装飾「イルミネーションミラー」（妻板）と「エコッパ」（幕板）だ。

「イルミネーションミラー」は、妻板に幾何学模様の鏡面パネルをはめ込み、内蔵したLEDで光のコントラストを作り出すもの。標準の柄は4種類で、色はフルカラーと白を用意している。

同店では、「シンプルだけに、キレイさが際立つ白」を採用。「ある程度の期間を置いて、フルカラーに換えるという戦術も考えています。それはそれで、〝ホールが変わった〟という印象を与えることができますから」と榎本常務。

まるでステンドグラスのごとく、シックで上質な感じがするのも当然で、鏡面に描かれた模様は、職人が1枚ずつ加工する、実に手の込んだ〝作品〟。だからこそ、ワンランク上のホールとファンに認識してもらえるのだろう。

一方の「エコッパ」は、幕板に薄型のLED照明を仕込んだ製品。



店内に入ると、まず目に飛び込んでくるのが妻板だけに、「イルミネーションミラー」のインパクトは絶大。鏡面パネルなので、店内がより広く見える効果も



仕切り版でパーソナルスペースを区切っている雁行島



スロットコーナー（2階）の「イルミネーションミラー」。通路が一層、華やかに。「パチンココーナーは女性を意識して花柄の模様を、パチスロコーナーは先鋭的なイメージということで、シャープな模様を選びました」（榎本常務）



鏡面とLEDのコントラストでゴージャス感を醸し出す「イルミネーションミラー」。日本の伝統的な模様を思わせる飽きのこないデザインとなっている。妻板の厚さは80㎜程度（同店の場合）

ホールに華やかさをプラスするのは、もちろん、4段階の調光機能が付いており、省エネタイプの照明設備としても活用できる。

「明るい店舗は、クリーンで安全なイメージの創出につながります。高齢者のお客さまも多いので、台まわりの明るさは大切にしたいところでした」

ちなみに、エコッパの表面を加工した幕板タイプの「イルミネーションミラー」もあり、妻板とデザインを統一することも可能。「イルミネーションミラー」「エコッパ」ともに、店名のロゴやオリジナルの図柄などを施すこともできる。

現場をあずかるスタッフは、「来店したお客さまから口々に『キレイになった』『変わったね』と言われました。そのには驚きました。それだけ反応があるというのは、相当、インパクトがある証ではないでしょうか」と笑顔を見せる。

榎本常務も、「デザインも江戸切子風で、われわれのような下町のホールにもマッチしています。お客さまにも『なんだこれは』と思ってもらえているようで、当店に興味を持ってもらえるきっかけにつながっています」と満足している様子。

リニューアル後、「女性やカップル層のお客さまが増え、パチンコの稼働が約1・5倍になった」と言うことからも、規模の大小にかかわらず、上質な遊技空間の提供は、集客に直結していることがわかる。

妻板や幕板は店舗の雰囲気を決定づける、〝ホールの顔〟ともいえる部分。ユーザーにとって一番目につく存在でありながら、デザイン性を感じさせるホールはほとんどないのが現状だ。

そういう意味では、光り輝くエンドパネルと幕板は、競合店との違いを際立たせる格好のアイテムといえるだろう。

3年前の改装では、「メダルパーソナル」や「ビッグウォーズパネラ」を設置。そして今回は台間を広げた上で、「イルミネーションミラー」と「エコッパ」を導入。257台の店舗ながら、勝つための設備投資を推進してきた「あかね立石店」。店内装飾同様、下町の中で〝光り輝く〟唯一無二のホールになっていきそうだ。



代表ランプもキンソー社製の「クリスタル・ライト」を採用。32×15×47㎜のクリスタルレンズを使用しており、光の高級感は他に類を見ないもの。レインボーに輝かせることもできる



老若男女でにぎわう店内。幕板の「エコッパ」は、呼び出しランプの信号に対応させ、光り方を変えることも可能。スタッフの迅速な対応にも資する製品